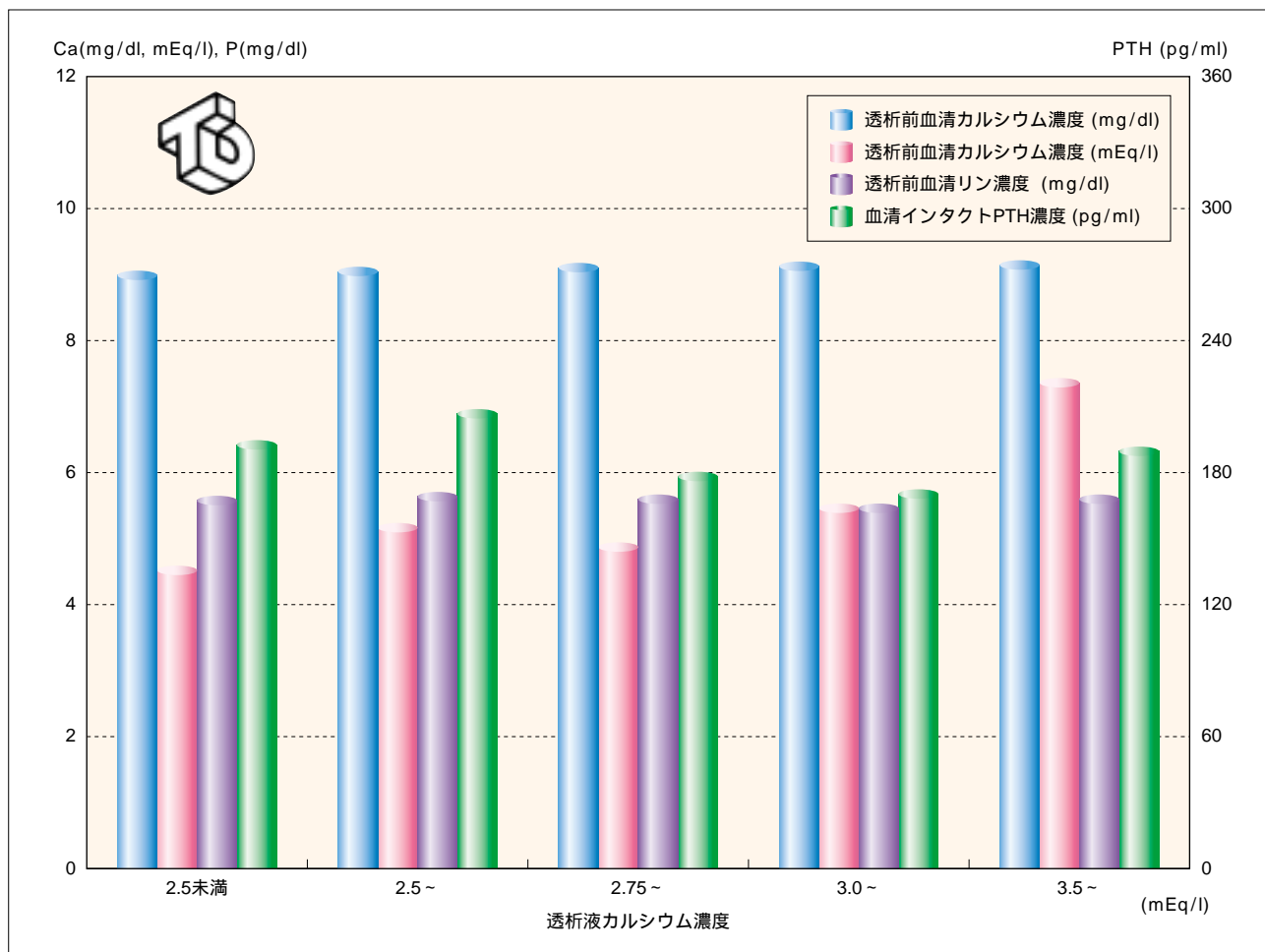


2) カルシウム、リン代謝

(2) 透析液カルシウム濃度別 透析前血清カルシウム、リン、インタクトPTH濃度平均値(図表31)



解説

透析液カルシウム濃度と透析前血清カルシウム、リン、インタクトPTH濃度の関係について検討しました。血清カルシウム濃度の単位については施設によってmg/dlとmEq/lの場合があり、理論的には単位をそろえることも可能ですが、測定法が異なっている可能性も考え今回は別に扱いました。

透析液カルシウム濃度が低い群で血清インタクトPTH濃度が高く、透析前血清カルシウム濃度が低値をとる傾向が見られます。二次性副甲状腺機能亢進症の治療に際して透析液カルシウム濃度を低く調整しているものも含まれていることが推測されます。